

2020年4月1日

2020年新入社員向け 社長挨拶要旨

社 長 川井 文義

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

本日、住友電装の新しい仲間として、皆さんを迎えることができ、大変嬉しく、そして、心強く思います。住友電装を代表し、心より歓迎の意を表します。本来であれば直接皆さんとお会いし、新たな門出をお祝いしたいところですが、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により動画配信という形になりますが、皆さんへの期待をお伝えしたいと思います。

当社は1917年に創立し自動車用ワイヤーハーネス及びハーネスを構成する各種部品、電線を主力製品とし、国内外のグループ会社100社以上、22万人以上の従業員を擁する100年以上の歴史を持つグローバル企業として成長してきました。しかし、現在、自動車業界は100年に一度と言われる大きな変革期に直面し、電動化・自動運転・コネクティッド・シェアリングといった新しい領域で、新技術開発が求められています。皆さんには当社の一員として、事業拡大や新技術開発の面からグループを牽引する若い力になって欲しいと思います。

ここで、皆さんの社会人としての門出にあたり、次の三つのことをお願いします。

1. 『周りから信頼される人になってほしい』

仕事は、チームプレーであり、先輩や上司など多くの人との関わり合いの中で結果を生み出していきます。そのためには、まず一人ひとりが相手を信頼し、相手からも同じように信頼される、良好な人間関係を構築することが大切です。周りから信頼される人になってはじめて、質の高い製品や付加価値の高い仕事ができるということです。

2. 『グローバルに活躍できる人になってほしい』

当社は海外32ヶ国で生産、開発、営業活動を行っています。今後もこれらの事業を拡大させていくためには、皆さんを始めとした従業員一人ひとりが、真の意味で「国際的に通用する人になる」ことが求められます。「国際的に通用する」ということは、国内外を問わず、相手の価値観を尊重し、グローバルな視点で物事を考えることができる能力を身に付けることです。これは、コミュニケーションツールとしての語学はもちろん、それぞれの国の文化や歴史なども理解し、幅広い常識を備え持つということでもあります。若い皆さんには、一日も早くグローバル人材として現場の第一線で活躍することを望んでいます。

3. 『目標を持ち、自己研鑽に努めてほしい』

企業を取り巻く事業環境が急速に変化する中で、一人ひとりが最新の知識や技術を習得することがますます重要になっており、社外でも通用する能力、技術を有するよう、自ら高い目標を課して自己研鑽に努めてほしいと思います。会社としても皆さんの能力を伸ばす手助けを可能な限り行っていきますが、基本は自己研鑽であり、一人ひとりの地道な努力の積み重ねが、組織力となり、ひいては会社全体のレベルアップに繋がると考えています。

心身共に健康には十分留意され、当社の将来を担う人材として、大きく成長することを心から期待しています。

【ご参考】

総合職入社者 189名 (事務系 49名 技術系 140名)
一般職入社者 119名 (事技系 21名 技能系 98名)

以上

SUMITOMO
ELECTRIC
GROUP